



糸魚川市立糸魚川小学校

学校だより 第7号

令和7年10月24日

TEL:025-552-0042 FAX:025-552-1304 E-mail:itosyo@itoigawa.ed.jp

(HP)<https://www.itoigawa.ed.jp/itosyo/>(携帯)<http://itoigawa.ed.jp/itosyo/otayori/i/>

わかばコンサート

失敗をほめよう (10月全校集会の講話から)

ご来場ありがとうございました

校長 富永 浩文

10月初旬、わかばコンサートに向けた練習まっただ中です。講堂から響いてくる演奏に、着実な仕上がりを実感しながら嬉しく耳を傾けています。子どもたちの歌声や音色、発表の声は、失敗や間違いを重ねながらも、確実に美しくなり、自信に満ちて、統一感が出てきました。これは、子どもたちの向上心と、ひたむきな努力があるからです。間違いや失敗から始まる成功への道。成功して実感する達成感、充実感を、音楽発表に限らず、子どもたちには色々な場面で感得してほしいと願います。

子どもの成長に寄り添うとき、子どもに失敗させないように盤石なレールを敷いたり、障害物を取り除いたりしてしまうことがあります。そのために挫折から立ち上がる力、創意工夫する力が育つ機会を奪ってしまい、子どもは、失敗で簡単に心が折れたり、簡単な道だけ進もうとしたりします。

申し上げるまでもありませんが、人は失敗を繰り返して、失敗から学びながら成長していきます。子どもたちには、失敗を恐れずチャレンジし、失敗してしまった自分をほめ、自分を鼓舞してほしいと思っています。友達同士でも、失敗してしまった友達を認め、励ましてほしいと思います。以下、全校集会の講話から。



//////////
(前略) 色々な大会やコンクールなどで、優勝したり、成功して良い賞をとったりするかげで、残念ながら努力が実らず負けたり、失敗したりして、悔しい思いをしている人がいます。今回表彰された人でも、それまでに、負けたり、失敗したりしている経験があるのではないのでしょうか。勝利、成功のかけには、たくさんの負けや失敗があるのです。

誰も負けたり、失敗したりするのはいやです。負けたくないから、失敗したくないから挑戦することをさけたり、あきらめたりする人がいます。皆さんはどう思いますか。負けたり、失敗したりすることは、私たちの成長にとって、決して無駄ではありません。大切なのは、負けたり、失敗したりした経験から、何を学ぶかです。そして、学んだことを次にどう活かすかです。私たちは、成功した経験からよりも、負けたり、失敗したりした経験から学ぶことの方が多いのです。

だから、勇気を出して挑戦して負けた自分には、「次があるよ」と励ましましょう。失敗した自分には、「よくやったよ」とほめましょう。もし、近くに失敗したり、負けたりして落ち込んでいる人がいたら、「大丈夫だよ、がんばったよ」と励ましたり、ほめてあげたりしましょう。

たくさん負けたり、失敗したりした人には、へこたれない力、立ち上がる力が体の中に蓄えられていきます。そして、あるとき、ものすごい成功や勝利を収めることにつながります。(後略)

//////////
1年生と一緒に羊を飼育しています。なかなか思うとおりにうまくいかず、失敗の連続です。私も心が折れそうになります。しかし、子どもたちや他の職員といっしょにやっていると、不思議と元気が出ます。命を預かる重みを感じながらがんばります、お互いに失敗をほめあい、あきらめずに。